

Title	2輪部品メーカーのアジア戦略
Sub Title	
Author	坂元, 将晃(Sakamoto, Masaaki) 小野, 桂之介(Ono, Keinosuke)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2002
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2002年度経営学 第1775号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002002-1775

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	小野研究会	学籍番号	80128395	氏名	坂元 将晃
(論文題名)					
2輪部品メーカーのアジア戦略					
(内容の要旨)					
<p>日本の2輪車業界では、海外生産の加速と国内需要減少によって国内生産が減り始めており、将来的にも大きな増加は見込めない。しかし、世界規模でみた場合、2輪車市場は増加傾向にある。特にアジア市場(ASEAN・中国)は今後急成長すると予測され、この成長市場を取り込むため、2輪車メーカーはアジア事業の再編と拡充を実施している。加えて、NIES・中国企業がこの10年間で急速に力をつけ日本企業の競合として台頭してきている。</p>					
<p>本研究では、このような大変革期にある2輪車業界を顧客とする、2輪部品メーカーD社が採るべきアジア戦略を立案する事例研究を行う。具体的な研究作業としては、まず、今後のアジア経済および2輪車業界の市場・競争動向について、関連文献を調査分析すると共に、国内の2輪車・2輪部品メーカーおよびアジアに展開する日系2輪車メーカー数社を現地訪問してインタビュー調査を行った。</p>					
<p>次いで、小野・根来が『生産企業の経営』で提唱している「NIES・中国企業による追い上げへの対抗アプローチ」および「12の市場競争要因をベースとする競争戦略論」をフレームワークとして用い、上記の文献・フィールド調査で得たアジア地域における2輪車業界の市場・競争動向に基づいて、2輪部品メーカーD社が如何にすればアジアにおいて競争優位を確保し成長していけるかについて検討した。</p>					
<p>研究の結果、今後、アジアは大競争時代に入ることが予想され、台頭するNIES・中国企業に対抗し成長していくためには、対NIES競合企業に対しては正面对抗型アプローチ、対中国競合企業に対しては、和睦型アプローチが適しており、いずれの競合対応アプローチにおいても、D社には今後かなり思い切った戦略的企業行動とさまざまな改革努力が求められることが明らかになった。</p>					